

2007 年度 小委員会活動成果報告

(2008 年 02 月 08 日作成)

小委員会名	テンション構造小委員会		主 査 名：岡田 章 就任年月：2005 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (シェル・空間構造運営委員会)		委員長名：和田 章 主 査 名：大森博司
設 置 期 間	2004 年 4 月 ~ 2008 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	ケーブル構造の現行ディテール設計手法に関して調査と分析・評価を行う。 (1) テンション構造のリストアップ (2) 分析・評価軸の作成と調査対象建物の絞り込み (3) 調査対象建物について、構造設計手法(ディテール設計手法も含む)や設計 クライテリアなどに関する調査分析・評価 (4) 分析・評価結果の整理と研究課題の整理。特にディテールの設計手法の整 理と問題点の分析		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無 岡田 章：日本大学(主査)，宮里 直也：構造計画プラス・ワン(幹事)，小堀 徹：日 建設計，斎藤 公男：日本大学，斉藤 嘉仁：太陽工業，田畑 博章：大林組，丹野 吉雄： 竹中工務店，中島 肇：清水建設，樋口 聡：鹿島建設，細沢 治：大成建設，浜崎 勇二： 神鋼鋼線工業，矢島 卓：東京製綱，陳 沛山：八戸工業大学		
設置 WG (WG 名：目的)			
2007 年度予算	80,000 円	ホームページ公開の有無： 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナ ー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 委員会での議論により現状の問題点の整理ができた。 2. 調査対象物件は、事例分析を通して絞り込み作業の途中である。 3. 事例分析を通して研究課題の整理を実施中である。
委員会活動の問題点 ・課題	1. 委員会での全員出席の機会が作れない。